

ピュア新聞

2026年

1月号

今年もどうぞ
よろしくお願いのいたします！

児童部門



『絵カードで「確認してください」』

今回の児童部門では、生活スキルの向上を目指して！

「窓拭き」と「トイレトペーパーの適切な長さを作る」に取り組めました。

窓拭き練習では、汚れをしっかりと見極めながら丁寧に磨き上げることができました。作業の終わりには、「確認してください」と絵カードを使って伝えることができ、コミュニケーションの面でも大きな成長が見られました。



『トイレトペーパーの練習用の支援ツール』



また、トイレトペーパーの練習では、「ツ（引く）」「トン（手を置く）」「パン（切る）」というリズムに合わせ、適切な長さを作るコツを学びました。

日常生活に欠かせない大切なスキルを、一つひとつ着実に身につけています。



生活介護ピュアファクトリー



『iPadを用いた絵カードで注文』



生活介護ピュアファクトリーで、地域のモスバーガーへお買い物に出かけました。

今回はiPadを手に注文という「表出コミュニケーション」にチャレンジ。賑やかな店内に少し緊張もありましたが、メニューをじっくり選び、ご自身のタイミングで店員さんに注文を伝えることができました。

こうした「好きなものを選び、自分の力で伝える」という楽しい実体験こそが、何よりの学びになると私たちは考えています。

施設内だけでなく、地域や家庭での「伝わった!」という喜びの積み重ねが、将来の自分らしい暮らしに繋がっていく。そんな「できた」の瞬間を、これからも地域の中で一緒に増やしていきたいです!

就労継続支援B型アドバンス



就労継続支援B型アドバンスです！今回は、最近の畑の様子をお伝えします。

上段の写真は落花生収穫の様子です♪たくさん実がなり、湯がいて食べると、とても柔らかく美味しかったです♪

下段は、そら豆の様子です。育苗した苗が大きく育ってきたので畑に定植しました。

こちらはみかん収穫の様子です。高い所は長いハサミを使いながら、とりました。甘くてジューシーなみかんなので毎年大好評です♪



【裏面へ→】

生活介護あすかファクトリー

12月25日、利用者様とスタッフ一同で楽しいクリスマス会を開催いたしました。「利用者さんに喜んでもらいたい」という想いから、スタッフが心を込めて考案したスペシャルメニューを実施いたしました。

テーブルにはハンバーガー、ポテト、チキン、カップ寿司が並びました。デザートのカレーには、お隣さんからいただいた、キウイとブルーベリーをジャムにしたものを包みました。このカレーをお隣さんにお届けしたところ、大変喜んでいただけました。

また、利用者さんの作成したクリスマス飾りはチャレンジショップでも飾らせていただき、クリスマスの雰囲気を盛り上げていただきました。

あすかファクトリーでは、日頃から地域の一員としての交流を大切にしており、今回のクリスマス会は、その温かい絆を改めて実感できる機会となりました。美味しい食事と楽しいひとときを通じて、利用者様、スタッフ、そして地域の皆様との「人の輪」がさらに広がることを願っています。



行動援護ピュアアクティブ

8月からスタートした新事業「行動援護ピュアアクティブ」です！

私たちは、強度行動障害や重度知的障害の方々の「お出かけ」をサポートしています。

大切にしていることは、利用者様お一人おひとりの「自己実現」周囲が行き先を決めるのではなく、ご本人が選んだ場所へ行くことを何より大切にしています。

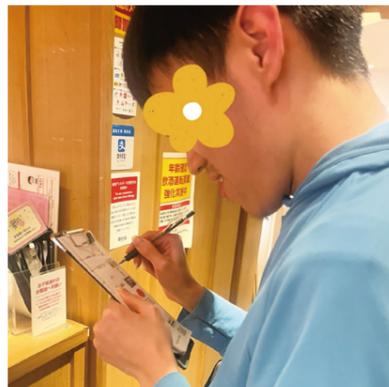
先日、Aさんは「デザートバイキングに行きたい！」とのリクエストで『串家物語』へ！

1日の流れを示した、スケジュールを自分で確認しながら、目的地までしっかり自立して行動されていました！

お店に到着すると、ずらりと並んだ串カツやスイーツに目がキラキラ☆特に「いちごのチョコフォンデュ」には興味津々！

「これ、どうなってるの…？」と不思議そうな、でもワクワクした表情でチョコをかける姿がとても印象的でした♪

美味しくそうに頬張るAさんの笑顔に、スタッフも心が温まった一日でした♪



『一日の流れを示すスケジュール』



理事長コラム

【ご挨拶】

2026年を迎え、皆さまには健やかに新年をお過ごしのこととお慶び申し上げます。今年の干支は、60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）です。丙午は一般に強い印象で語られることもあります。本来は情熱を原動力に、力強く前進していく年とも言われています。当法人は、本年6月15日に設立20周年を迎えます。この20年は、皆さま一人ひとりの努力と挑戦の積み重ねによって築かれてきたものです。これまでお支えいただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。20周年は一つの節目であると同時に、次のステージへの新たなスタートでもあります。本年は、明日香村の世界遺産登録を見据え、「明日香ビュアファームパーク」の一部オープンを予定しており、当法人としても新たな挑戦が始まります。皆さまと力を合わせながら、次の20年につながる確かな一歩を踏み出していきたいと思います。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【活動報告】

1月18日から3日間、当法人が在籍している中小企業家同友会の経営者であり、日頃より大変お世話になっている株式会社吉村の橋本社長、株式会社コマームの小松会長とともに、鳥根県の世界遺産・石見銀山を訪れました。

現地では、地域再生に取り組んでおられる松場登美さんをお訪ねしました。橋本社長から「ピュアの取り組みにも参考になるのでは」とお声がけいただいたことがきっかけとなり、大変有名な松場登美さんにお会いする貴重なご縁をいただきました。昨年に引き続き、今回が2回目の訪問となります。石見銀山は2007年に世界遺産に登録され、一時は多くの観光客でにぎわいました。しかし、数年が経つにつれて来訪者は減少し、地域は再び落ち着いた環境へと戻ってしまいました。

そのような状況の中、地域の未来をあきらめることなく、再生に力を注いできたのが、暮らす宿「他郷阿部家（たきょうあべけ）」の当主である松場登美さんです。

松場登美さんは、石見銀山に残る古民家を再生し、地域の歴史や日本の古き良き暮らしの魅力を現代に伝える活動を続けておられます。他郷阿部家を拠点に、宿泊や食、服飾、工芸品などのものづくりを通じて、訪れる人が「暮らすように滞在できる」場を生み出しています。

観光地として一時的に人を集めるのではなく、土地の文化や自然、人々の営みを大切にしながら、持続可能な地域づくりを目指してきたその歩みが、石見銀山の新たな魅力へとつながりました。

その積み重ねにより、石見銀山は再び注目を集め、地域には確かな活気が戻りつつあります。

松場登美さんのお話は、一言一言に深い説得力があり、強く心に響くものでした。また、橋本社長、小松会長と一つ屋根の下で寝食をともにした3日間は、経営や地域づくりについて多くの示唆をいただき、非常に貴重な時間となりました。

松場登美さんからは、「心想事成（しんそうじせい）——想いを諦めずに取り組むことが大切です」というお言葉を頂戴し、大きな励みとなりました。

今回の訪問で得た学びを、今後の当法人の活動にしっかりと生かしてまいります。

改めて、このような機会をいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



【次号をお楽しみに！】